

厚木基地騒音対策協議会の要請について

厚木基地の航空機騒音の解消に向けて、町田市と神奈川県、厚木基地周辺8市(横浜市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市)の首長と議長等で構成する厚木基地騒音対策協議会(会長:黒岩祐治 神奈川県知事)が本日開催され、会議終了後、協議会として次のとおり要請活動を実施しましたので、お知らせいたします。

1 要請項目(要請文は別添のとおり)

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練(NLP)による航空機騒音の解消等について

- (1) 空母艦載機ジェット機の移駐等を着実に実施するとともに、その実効性を確保すること
- (2) 恒常的訓練施設を確保すること
- (3) 移駐実現までの間も、NLPなどにおける硫黄島の更なる活用や、激しい訓練の発生が予想される飛行に関する事前情報提供により、騒音問題の解決に積極的に取り組むこと

2 要請先

内閣総理大臣	野田 佳彦
外務大臣	玄葉 光一郎
財務大臣	安住 淳
防衛大臣	一川 保夫
駐日米国大使	ジョン・V・ルース
在日米軍司令官	バートン・M・フィールド中将
第7艦隊司令官	スコット・H・スウィフト中将
在日米海軍司令官	ジェームズ・D・クロイド少将
厚木航空施設司令官	エリック・W・ガードナー大佐
第5空母航空団司令官	ダニエル・S・ケイブ大佐

3 要請概要

協議会会員等が下記3か所に要請書を持参(他は郵送等)

防衛省 (下条みつ 政務官)	<ul style="list-style-type: none"> ・要請のあった空母艦載機の移駐は大変重要な課題であり、2014年の期限までに移駐を実現するよう全力を挙げて取り組んでいく。 ・移駐までの間も、厚木基地においてNLPを実施しないよう米側に申し入れるとともに、騒音による市民生活への影響を極力少なくするよう、周辺自治体の実情を踏まえ必要な措置に努めていく。
外務省 (伊原 純一 北米局長)	<ul style="list-style-type: none"> ・要請の内容は、大臣に報告し対応する。 ・空母艦載機の移駐については、2014年を目指して作業しており、引き続き最大限の努力をしていく。 ・夜間連続離着陸訓練については、できる限り硫黄島で実施されるよう努力するとともに、情報提供についても努力をしていく。
駐日米国大使館 (ロバート・ルーク 政務担当公使)	<ul style="list-style-type: none"> ・空母艦載機の移駐ができる限り早く実現できるよう努力している。 ・恒常的訓練施設については、日本政府の役割が大きいですが、米国政府としても日本政府に協力していく。